

## 「井寒台憩いの森」で地元小学生に森林教室

浦河町の井寒台森林公園では、平成18年に発生した風倒被害地の復旧事業として、地域住民の協力を得て、平成19年度から植樹やエゾシカの食害から苗木を守る防鹿ネット、防鹿柵の設置を行ってきました。

また、次代を担う子供たちに、地球の緑を守り育てることの大切さを感じてもらうために、地元浦河町と共催で森林教室を平成22年度から毎年実施しており、地元の堺町小学校3年生55名が参加のもと、10月28日（月）実施しました。

5班に分かれ、ちょうど紅葉の季節で、色とりどりの落ち葉を見ながら、「どの木から落ちた葉っぱかな?」、「木の傷や穴はどんな動物がつけたのかな?」など興味津々で、予定より倍の時間をかけながら散策しました。

また、「森の色合わせ」カードを手に、樹木や葉のほか森の中に潜んでいるキノコ、石、土など観察しながら、「このキノコは食べることができるの?」「木の穴にはどんな動物が住んでいるの?」「沢の水はどこからくるの?」「紅葉の葉っぱの色はなぜ違うの?」「大きなミミズを発見した」など、生徒たちは自分なりの発見・気づきを体験し、最後に皆の前で発表していました。

教える側も、自然に限らず、いろいろなことを学ぶためには、このような疑問を持つことが大事であることや、子供たちにわかりやすく説明する日々のトレーニングが必要であると改めて実感しました。

最後に、寒くなっても木のぬくもりを感じてもらうように、全員にコースターを記念に配り、木材利用のPRも兼ねた1日となりました。

